

動物実験に関する自己点検・評価報告書

飼養及び保管の状況
実験計画書の年間承認件数
教育訓練の実績

京都産業大学

平成 28 年 7 月
(報告対象：27 年度)

動物実験に関する自己点検・評価報告書

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都産業大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針に従って、機関内規定が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都産業大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針に則した動物実験委員が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・実験動物にかかる体制図 ・動物実験計画書 ・動物実験結果報告書 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・施設等廃止届 ・動物搬入申込書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・基本指針に適合した、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告等の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・京都産業大学R I 実験施設放射線障害予防規程 ・京都産業大学化学物質管理規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全委員会規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全管理規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全審査会規程 ・京都産業大学組換えDNA実験安全管理規程 ・京都産業大学組換えDNA実験安全管理規程施行細則 ・京都産業大学組換えDNA実験安全実施要領

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に関する規定がそれぞれ学内で定められており、それぞれの委員会で連携をとりながら実施している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・動物飼育管理マニュアル
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物飼養施設では、業務委託で実験動物の知識と技術について精通している管理者が管理しており、飼育管理マニュアルに基づき適正に管理を行っている。 ・一部、施設管理者や動物実験管理者が明確に定められていない。そのため、緊急時の連絡体制が明確化できていない。（現在は動物実験委員長に一任）
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度までに、実験動物飼養施設ごとの施設管理者や実験動物管理者を決定し、緊急時の連絡体制等を明確化させる。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験実施者から提出された計画は委員会において十分に審査を行うことが出来ている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画一覧 ・動物実験実施結果の集計一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験計画については委員会で審査したうえで承認している。実験終了後は動物実験実施者から提出された計画書に対して、動物実験結果報告書が漏れなく提出されている。 ・これまで自己点検が行われていなかったことが改善点である。（2015年度分は実施）
4) 改善の方針、達成予定時期 ・来年度より、動物実験結果報告書の提出とともに自己点検票の提出も義務付ける。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・安全管理を要する動物実験計画一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・安全管理を要する動物実験においても、それぞれの委員会の承認を経てから実験を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・動物飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・実験動物飼養施設では、業務委託で実験動物の知識と技術について精通している管理者が管理しており、飼育管理マニュアルに基づき適正に管理を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・ 動物飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 業務委託による管理者がマニュアルに基づき、管理を行っている。 ・ 委員会による視察がこれまで行えていないのが改善点である。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 次年度以降は、年に数回委員会による施設の管理を行っていく。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 教育訓練の実施記録 ・ 教育訓練の内容を示す資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 毎年定期的に、動物実験実施者に対して教育訓練を行っている。 ・ 学生実習においても動物実験を実施するため、すべての学生が出席するまで補講を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 京都産業大学 総合生命科学部 動物実験施設 HP
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・昨年度まで自己点検・評価が行えていなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・来年度よりそれぞれ動物実験実施者に自己点検票を配付し、自己点検・評価実施して以降は毎年行うようにする。 ・自己点検・評価の内容は動物実験施設 HP に掲載する

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし

・飼養及び保管の状況

施設の名称	動物種 (主な飼養動物種)	飼養数
14号館	ネコ	6
	マーモセット	3
	ラット	3
15号館	マウス	1545
	ラット	47
	ウサギ	0
	モルモット	3
	ニワトリ	5
16号館	ニワトリまたはマウス	0

(平成28年6月時点)

・27年度 実験計画書の年間の承認件数

57件 (新規2件、継続55件)

・27年度 教育訓練の実績

計135名

[実施月日/人数]

- ① 日時：平成27年4月8日(水) / 8名
- ② 日時：平成27年7月2日(木) / 15名
- ③ 日時：平成27年7月18日(土) / 103名
- ④ 日時：平成27年9月10日(木) / 7名
- ⑤ 日時：平成27年10月30日(金) / 2名

[実施内容の概略]

- ① 京都産業大学動物実験規程について
- ② 動物愛護に係る規程・基準指針ガイドラン等について
- ③ その他(実験施設の使用心得など)